

## 荒土地区市民意見交換会 議事要旨

○と き：令和4年12月21日（水）午後7時～9時

○ところ：荒土まちづくり会館

○テーマ：①市役所組織変更について

②地域防災について

③こども政策について

④まちづくり会館について

○出席者：49名

Q1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恐竜博物館は県内でも有数の観光施設だが、勝山市にはどれくらいの経済波及効果があるのか。</li> <li>・越前大仏や勝山城博物館はすばらしい施設だが、市としてはこの施設を活かす計画はあるのか。</li> </ul>
A1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済波及効果については、博物館のそのものの消費額と観光客数に単価を乗じて計算する方法、その他に飲食店や土産物関連の消費額を合わせて計算する。</li> <li>・越前大仏や勝山城博物館はすばらしいコンテンツだと思っている。清大寺や財団と細かくやり取りして、さらに活用していきたい。</li> </ul>
Q2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革により教育委員会の権限が大きくなる印象を受ける。権限を持つ人の影響力が大きくなることが懸念される。どのように人員を選ぶのか。また保護者や学校、外部の声が届く仕組みを取り入れていただきたい。</li> <li>・災害時の情報収集の方法として、市民が近所の様子を写真で撮影し、投稿したものをリアルタイムで見える化するウェブページがあると良いのでは。</li> <li>・中央公園のリニューアルについては、行政だけで進めるのではなく、民間の建築デザイン関係を巻き込み、アドバイスしてもらえると良い。</li> <li>・まちづくり会館は小さな市役所を各地区に設けるイメージか。開館日時を長くしていただくのはありがたいが、職員の負担がないようにしてほしい。</li> <li>・行政改革により、一つの課の業務量が増えているのではないか。行政職員や学校職員は災害時にもフル活動していただきありがたいが、手当や有休休暇の取得もしっかりと取れる体制にしていきたい。専門職が仕事に集中できるよう、事務職を増やすなど職場環境の改善をしていただきたい。</li> </ul>
A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革により福祉児童課の子ども政策部門の職員を教育委員会に異</li> </ul>

	<p>動させるので、一人の権限が大きくなることはない。教育委員会事務局には教育委員会があり、外部チェック機能があるので問題ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時にリアルタイムで見える化するのには良いアイデアだと思う。今年の3月から市職員の固定電話を廃止し携帯電話に切り替える。職員が地区へ出る時に、リアルタイムで情報収集できるようにするなど有効活用していく。</li> <li>・中央公園の改修については民間の専門家の力を借りていく。また利用される方の声も聞いていきたい。</li> <li>・まちづくり会館は、会館を小規模多機能自治の拠点として、地域防災、地域福祉などの機能を担っていく。</li> <li>・市の組織については、部署の数を絞り一つの課自体が大きくなり、業務も増えている。部署相互の連携応援体制を取るようになっている。職場環境の改善についてはしっかりとやっていきたい。</li> </ul>
Q3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新中学校を勝山高校に併設することにメリットを感じない。グラウンドは狭く、高校生の活動場所が制限され不都合が出てくるのではと思う。また、県立の施設に市立が入ることによって先生方の遠慮も考えられるし、古い校舎へ行くことは精神的にストレスがあると思う。地下道の使用も不安である。新しい中学校を作ることは皆が喜ぶようにしてほしい。先生も生徒もいきいきとなるように願っている。</li> </ul>
A3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会では、中学校を勝山高校に併設する際の不安の声をよく聞く。皆が喜ぶような中学校を作るというのは市も同じ考えである。現在先生や保護者の方から声を聞き基本計画を策定中である。年明け早々に、保護者対象に細かい説明会を実施し、安心して新しい中学校を作れるようにしたい。</li> </ul>
Q4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年の保護者の声もしっかり聴いてほしい。</li> </ul>
A4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前、小学校低学年の保護者を対象に説明したい。こども政策全体のことを交えて、時間をかけて行う。</li> </ul>
Q5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月4日の豪雨災害の際には、伊波にボランティアの方がたくさん来ていただき感謝している。被災場所の復旧については区を通じて要望しているところだが、河川の河床が高くなっている。特に水路の内側に土砂が溜まっているので、次の大雨が降る前に早急な対応をお願いしたい。</li> <li>・中学校再編について、勝山北部中学校には坂東島や矢戸口の子どもが通っているが、勝山高校まで一人で通えるのか不安である。スクールバスを走らせるという話もあったが、まずは公共交通機関が基本という話も聞いた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、以前の説明では、中高連携クラスを設けると言っていたが、今はそうではないと聞く。何のために併設するのか。</li> <li>・再編計画を進めているが、大多数の市民が理解していないと思う。本当にこのまま進めるのか。この計画を中止できないか。</li> </ul>
A5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の河床については県と話をして対応したい。</li> <li>・スクールバスは確実に走らせる。これは最低条件だと思っている。新中学校へ子どもを通わせる保護者世代に向け、しっかりと説明をしていきたい。</li> <li>・中学校再編については、これまでこの問題をつないできた責任、そして子どもたちの将来のための責任もあり、途切れさせるわけにはいけない。</li> </ul>
Q6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水芭蕉には1週間に3日は行っているが、だんだん施設が汚れているように思う。また利用客も少なくなっている。掃除についてはしっかりしてほしい。</li> <li>・高齢になり車を廃車しバスを利用しているが、バス停の積雪によりバスへの乗降りが非常に不便である。バス停の除雪をしてほしい。</li> </ul>
A6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水芭蕉についてはすぐに調べて対応する。温泉を掘り直したので、温泉量は5・6倍になった。配管は遅れているが、対応したい。</li> <li>・バス停の雪の対応についてはできるだけ高齢者に気配りしたい。</li> </ul>
Q7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が増え、移動手段について心配している。コミュニティバスがあるが、バス停まで歩いていけない人もいる。永平寺町では近所タクシーというサービスを行っており、家から目的地までタクシーが送迎してくれ、1回300円で利用できる。目的地は公の場所やスーパーに限られているが、良い事案だと思った。勝山でも試験的にエリアを決めて、実証してみてもどうか。</li> </ul>
A7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の中移動手段の確保が課題である。今年、野向地区と北郷地区において、バスのデマンド化を先行実施する。バス停の数を1.5倍程度増やしてバス停の間隔を短くする。先行実施の中で改善していきたい。</li> </ul>
Q8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別所で癒しのサロンを経営しているが、色々な方の不安の声をよく聞く。お子さんで、コロナ禍でマスクができないから学校へいけなくなったという声も聞く。それくらい深刻な状況にもなっている。</li> <li>・中学校再編に対し不安を持っている保護者も多い。若い保護者の声は届いているのだろうか。以前、教育長が出席した説明会では、再編に対してアンケートを取ってほしいと意見があり、準備検討委員会の方でも声が届いていると思うが、それは未だ実現されていない。</li> <li>・再編準備委員会で、地下道については災害が起きた際の問題が大きく、</li> </ul>

	<p>検討する必要があると意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・またなぜ再編を急いでいるのか。</li> </ul>
A8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナは多くの人に影響を及ぼしている。やむを得ない措置の中で苦しんでいる子どもたちがいるのは承知している。</li> <li>・地下道の防災面についてはしっかりと対応したい。</li> <li>・「なぜ再編を急いでいるのか」という問いに対しては、急いではいない。むしろここに至るまで15・6年かけてやってきた。行政としてここまで時間をかけるのではないというほど時間をかけている。</li> </ul>
Q9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60歳以上の方にバス・タクシーのチケットを配布していたが、60代の方はあまり使わないのでは。ジオアリーナやプールの利用にも使用できるようにならないか。</li> <li>・まちづくり会館は地区の中心部にあるので、皆が集まりやすい会館になってほしい。荒土小学校の前にはバス停があるが、まちづくり会館の前にはバス停がない。小学校の方の利用者がないのであれば、会館前に移動できないか。バス停を増やせるのであれば、会館前にも設置してほしい。</li> <li>・バスの料金を一律100円にしてほしい。そうすれば利用率が上がると思う。</li> </ul>
A9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの利用券をプール等でも使用できるようすることは検討してみる。広報に載せているクーポンがあるので、プールの割引チケットにするなど検討したい。</li> <li>・バス停については検討したい。デマンドバスが導入されるとバス停の間隔が短くなる。</li> <li>・バス料金についてはご意見があったことについて検討したい。</li> </ul>
Q10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の災害の際にはボランティアの支援が一番助かったという声が多かった。復旧については別途要望しているので、市の方からも働きかけてほしい。</li> <li>・中学校再編について、中学校と高校とは管轄が違うので真の連携はできないと思う。また、教育は重要であり、高校の存続が危ういから中学校を併設するというのは論外である。教育を他の目的に使ってはいけない。</li> <li>・平成16年から始まった中学校再編だが、当時は教育関係者がおり方検討委員会に携わっていなかった。当時から現場の先生の声を入れていれば違ったのではと思う。</li> </ul>
A10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで災害ボランティアの派遣はあっても、受入についての経験がなかったので、良いケースになったと思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校において、県と市の連携はしっかりやっていく。</li> </ul>
Q11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かつやまこどもの村小中学校の構成を見ていると、少人数でもある程度、活動出来ていると思う。学校を一校にして人数多くするのはどうかと思う。</li> </ul>
A11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のかつやまこどもの村小中学校は100人近く子どもがいるのでかつてのように小規模ではなくなっている。また部活等がないので、市立の学校と比較が難しい。また、小学校再編については地域の意思を尊重するという、これまでの検討委員会の意見を尊重している。</li> </ul>
Q12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅の100万人突破のイベントあったが、隣接の広大な地面についてどのように活用していくのか。そこに大きな看板を立ててはどうかと提案をしたが、届いていない。</li> <li>・農業委員会がコキアをしたが、人が多く訪れて良かった。自然農園にしても良いのではないかと思う。</li> <li>・恐竜博物館がリニューアルすると、交通渋滞が懸念する。渋滞対策はどのように対応するのか。</li> </ul>
A12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅の周りの土地は観光産業団地として、土地開発公社で売りに出しており、一部決定した区画もある。看板については、勝山インターチェンジに大きな恐竜の看板を設置する。クラウドファンディングを活用しワクワク感があるコンセプトで準備している。</li> <li>・コキアの植栽については有休耕地の活用で始めたので、この目的で続けたい。ただ、道の駅近くで実施した際にはコキアを見るために歩行者が道路を横断し危なかったため、場所については検討したい。</li> <li>・渋滞対策はしっかり対応したい。恐竜博物館がコロナ対策により入場制限を実施し、現在予約制を実施している。これまでと比較して渋滞は少なくなっている。リニューアル後は駐車場を拡張するなど、県と協議している。地域に迷惑がかからないようにしたい。</li> </ul>
Q13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校再編について、反対派の人たちを納得させるのは非常に大変であると思う。アンケートを実施すればある程度納得するのでは。</li> </ul>
A13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校再編については地区により温度差があり、ほとんど意見がでない地区もある。保護者世代に説明会を実施し、その際にアンケートをとることはあり得ると思う。夢のある学校になるよう考えていきたい。</li> </ul>
Q14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流センターを利用する団体は30ほどあり、市民活動ネットワークが活動している。まちづくり会館の利用も合わせて、いろんなPRをしてはどうかと思う。</li> </ul>
A14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所全体の公共施設をどう利用するのか、再度位置づけをしっかりとやっていきたい。市民活動ネットワークやまちづくり会館も含めやって</li> </ul>

	<p>いきたい。この会館は地域福祉の拠点であり、市民の皆様に十分活用していただくよう周知もしっかりとしていきたい。</p>
Q15	<p>・こども会館を整備するにあたり、子どもたちが雪が降っても遊べるような場所になると良い。小さい子がゆっくり遊べるような場所、他にもモノづくり、プログラミングが出来るような部屋、ボルダリングなど、子どもが興味でるような施設を考えていただきたい。滑り台には賛成できない。雪が降ることを考えると、屋内施設を充実してほしい。</p>
A15	<p>・こども会館は、こども公園と一体的にフラットに整備する予定である。屋内遊戯場の整備が一つの目的のひとつであり、いろんな意見を聞いて作っていきたい。</p>

以上